

授 業 科 目 名	教育心理学(Educational Psychology)		
科 目 番 号	9106011	授 業 形 態	講義
単 位 数	2 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	秋 C, 春季休業中	曜 時 限	火曜・3、4 時限, 集中
対 象 学 群 ・ 学 類	看護学類生に限る。		
担 当 教 員 (連 絡 先)	徳田 克己, 水野 智美 (総合 D 棟 727 ・ 内線 6058 ・ ktokuda@yahoo. co. jp)		
オ フ ィ ス ア ウ ー	火曜日午前中		
授 業 の 到 達 目 標	児童生徒の学校生活及び家庭生活における心理学的な課題とその対応について、基本的な知識を身につけるとともに、養護教諭としての役割を説明できる。		
授 業 の 概 要	今日的な教育問題を中心に提起、将来、養護教諭として対応するにあたり、必要となる心理学的な知識、技術を身につけ、児童・生徒の学校保健的な対応を遂行するにおいて必要となるカウンセリングの基本的事項を学ぶ。そのために十分な予習をもとに、議論を深めていく、学生参加型の積極的な授業の展開を目指している。		
授 業 計 画	<p>授業計画</p> <p>第1回:教育心理学の基礎1</p> <p>第2回:教育心理学の基礎2</p> <p>第3回:記憶</p> <p>第4回:学習</p> <p>第5回:パーソナリティ</p> <p>第6回:適応</p> <p>第7回:発達障害</p> <p>第8回:乳幼児の発達と課題</p> <p>第9回:小学生の発達と課題</p> <p>第10回:中学生の発達と課題</p> <p>第11回:動機づけ</p> <p>第12回:知能と学力</p> <p>第13回:いじめ</p> <p>第14回:不登校、ひきこもり</p> <p>第15回:非行</p> <p>第16回:教師の人間関係</p> <p>第17回:保護者との人間関係</p> <p>第18回:障害児</p> <p>第19回:能動的な学習方略知能</p> <p>第20回:教育評価</p> <p>定期試験は実施しない。</p>		
成 績 評 価 方 法	提出されたレポート(80%:6 回のレポートをそれぞれ A+、A、B、C の 4 段階で評価する)、授業時の口頭試問(20%)		
テ キ ス ト	沢宮容子・水野智美・高見令英編著『ここだけは押さえない教育心理学』文化書房博文社		
参 考 文 献	徳田克己著『改訂 ヒューマンサービスに関わる人のための人間関係学』文化書房博文社		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	毎回、予習のレポートおよび復習のレポートを課す		
受 講 学 生 に 望 む こ と	<p>毎回(2 回目から 7 回目)の授業に備えての予習レポートと授業後の復習レポートが義務である授業であるので、そのことを覚悟して履修すること。</p> <p>授業日、授業までに用意しておくべき事柄に関しては看護学類の掲示板に告知の文書を掲示するのでよく見ておくこと。2 月 19 日、20 日は 1 限から 5 限まで集中講義として授業を行う予定である。養護教諭志望者に特化した教職科目であるので、看護師・保健師志望者の受講は勧められない。</p>		
備 考			